

区民
かわら
版

山科の魅力 “ええとこ・ええもん” 大募集

締切り迫る！お急ぎください

区民委員や学識者等からなる「山科魅力発見プロジェクト」では、区民の皆さんが親しみ誇りとし、未来に伝えたい山科の魅力“ええとこ・ええもん”を3月末まで募集しています。応募を元に「山科魅力発見プロジェクト」において決定し、冊子などにまとめて公表する予定です。

山科区の魅力の一例

桜と菜の花に彩られた琵琶湖疏水の風景

安朱付近の疏水べりでは、区民の皆さんが植えられた菜の花が、桜の見ごろに合わせるように満開となり、鮮やかなコントラストが人々の目を楽しませています。

京都の近代化の礎となり、100年以上を経た現在もお人々の暮らしを支える疏水は、その風景においても私たちの心を和ませてくれています。

応募・問合せ先 山科魅力発見プロジェクト
ええとこ・ええもんin山科一區まちづくり推進課 (☎592-3088)



ふれあい“やましな”2009 区民ふれあい文化祭

区民ギャラリー受賞者決定

2月に開催された区民ふれあい文化祭「区民ギャラリー」に出展された作品282点の中から、各部門の「ふれあいやましな賞」受賞作品(最優秀作品)を紹介します。

絵画

一般の部



「老人と猫」
溝川 チズ子さん

小学生・中学生の部



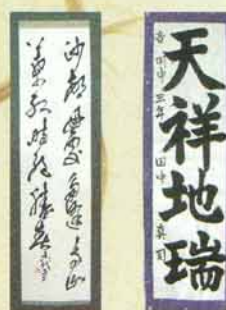
「ジェレミーと灰色のドラゴン」
鏡山小学校6年 河村 こころさん

保育園・幼稚園の部



「消防自動車」
東野保育園5歳児 玉垣 樹里さん

書道



(左)一般の部

「紅葉」
山田 香代子さん

(右)小学生・中学生の部

音羽中学校3年 田中 真司さん

写真



「愛してるよ」
酒井 文夫さん

リサイクルアート



「ニューズペーパーアート」
藤田 弘子さん

陶芸



「紅葉」
弦川 弘子さん

問合せ先 ふれあい“やましな”実行委員会事務局:区まちづくり推進課 (☎592-3088)

小野小町ゆかりの寺「随心院」

はねず踊り開催 3月29日(日)

小野小町と深草少将の恋物語を踊りで披露



はねず(薄紅)色の小袖の少女たちの華やかな舞

小野小町ゆかりの寺、随心院に咲く紅梅が見ごろを迎える春、伝統のはねず踊りがはねず踊り保存会により催されます。

このはねず踊りは、財団法人伝統文化活性化国民協会の認定事業になっています。

京に春の訪れを知らせるはねず踊り。小町と少将の悲恋をわらべ歌に合わせ、少女たちが可憐、優雅に舞います。美しい舞をどうぞお楽しみください。

時間 ①午前11時②午後0時30分③午後1時30分④午後3時

場所 随心院境内(雨天の場合は能の間) 小野御霊町35(地下鉄小野駅から徒歩5分)

料金 大人1,000円、中学生以下800円(拝観、梅園入園料含む)

問合せ先 随心院 (☎571-0025)

見上げてみよう 山科の空

—花山天文台から—

第1回「花山天文台創立80周年」

「世界天文年」を記念して、山科の世界に誇れる施設「花山天文台」を区民の皆さんにより知っていただくため、シリーズで「見上げてみよう山科の空」を連載します。

京都大学花山天文台が創立されたのは80年前、1929年のことです。当時は、「東洋一の望遠鏡を備えた天文台、完成」と大きなニュースとなりました。初代天文台長の山本一清教授が、この花山天文台で、全国の天文好きの子供たちや市民を集めて、天文学の普及活動を熱心に行った結果、日本のアマチュア天文学は世界一になりました。花山天文台には日本中から天文ファンが集まり、アマチュア天文の聖地とも言われました。



創立当初の天文台には、多くの人が見学に訪れました。多い時で1日に5,000人の見学者が訪れたという記録も残っています。

時折、新聞に「彗星が発見された」、「超新星が見つかった」など、天文ニュースが載りますが、こんな国は日本だけのようです。年輩の天文ファンの方の中には、花山天文台の観望会などの折に、「子供のころからこの天文台に来るのが夢でした」と感激される方もあり、天文に熱い思いを持つ人の存在を改めて知らされます。

現在、花山天文台には、日本で3番目に大きな口径45cm屈折望遠鏡や日本で2番目に大きな太陽

分光装置など貴重な望遠鏡や装置が数多くあります。これらの望遠鏡や装置を使うと素晴らしい月や惑星の姿、太陽スペクトルなどが見られます。

私たちは、花山天文台の偉大な先輩の伝統を受け継いで、これからも天文や宇宙、自然科学のおもしろさや素晴らしさを、子供たちや市民の人々に知ってもらうため、広く一般公開し多くの人に足を運んでもらいたいと考えています。ところが、花山天文台の常勤職員はわずか二人しかおらず、とても観望会が開ける状態ではありません。

そこで一昨年、「NPO花山星空ネットワーク」という活動を始めました。近隣の学校の先生方や地元の方々にボランティアを募ったところ、積極的に協力していただき、年に数回、観望会を開催できるようになりました。皆さんも、ぜひ参加されませんか。興味ある方は、花山星空ネットワークのホームページ (<http://www.kwasan.kyoto-u.ac.jp/hosizora/>)



kwasan.kyoto-u.ac.jp/hosizora/ をご覧ください。

今年はガリレオ・ガリレイが、望遠鏡で宇宙を初めて見てから丁度400年。それを記念して、2009年は世界天文年と位置付けられ、世界中で様々な催し物が企画されています。

また、2009年は花山天文台が創立80周年を迎えます。世界天文年と花山天文台80周年とが見事に合致した記念すべき今年、花山天文台では観望会や見学会など様々な企画を予定していますので、参加をお待ちしています。

京都大学大学院理学研究科
附属天文台長

柴田一成教授執筆